発表論文集原稿作成要領（テンプレート）

――日本離婚・再婚家族と子ども研究学会　第3回大会準備委員会――

企画者：野口　康彦（茨城大学人文社会科学部）

話題提供者：●●　●●（〇〇家庭裁判所）

企画趣旨

ここから記載を始めてください。

1. 書式について

レイアウトについては、以下の注意事項をよくお読みください。このテンプレートをダウンロードして使用されてもかまいません。

（１）用紙：A4を使用し、1枚に必ず収める。

（２）文書作成ソフト（Microsoft Wordを推奨）を使用し黒色で作成する（カラー不可）。

（３）余白：上22 mm、下27 mm、左右17 mmとする。

（４）題目：MS明朝20ポイント（以下ptと略記）で記入する。ただし、題目が2行にわたる場合は、ポイント数を下げて1行に収める。副題がある場合には、普通字サイズMS明朝（10.5 pt）で記入し、1行に収める。

（５）企画者氏名：主題・副題の次の行に、MS明朝（10.5 pt）で記入する。

（６）所属：発表者氏名の下の行に、MS明朝（10.5 pt）で、括弧でくくって記入する。

（７）話題提供者等：必要に応じて，話題提供者，指定討論者，ファシリテーター等の役割を記載し，その者の氏名及び所属を企画者に準じて記入する。

（８）本文の文字はMS明朝（10.5 pt）、見出しはMS Pゴシック（10.5 pt）で、基本的には1行文字数は46字まで、行数は42行程度とし、本文枠（縦217 mm×横176 mm）に必ず収める。英数字は、本文はTimes New Romanですべて半角、見出し番号はMS Pゴシックですべて全角とする。

（９）必要に応じて話題提供者などの原稿を入れる（企画者等の行から1行空けて書き始める）。原稿は話題提供者などの原稿も含めて1頁に収まるよう作成する。

（10）図表・写真：画像として原稿に組み込む（カラー不可）。図表・写真が本文枠（縦217 mm×横176 mm）からはみ出すことのないように注意する。この図表がそのままPDFになるため、鮮明なものとする。